※七丁目町内全世帯配布新聞・「子供たちの安全を守る」「高齢者を詐欺から守る」特集号※

ナナちゃん新聞

紫原七丁目町内会

Ｎｏ-4
令和3年
5月15日

編集・発行責任者
町内会長　藤田　茂

★町内あげて「子供たちの安全を守る」特集号☆

【南日本新聞より抜粋】

中学生以下・・声かけ、つきまとい

不審者情報過去10年最多!!
皆さん子供たち「ながら見守り」で守りましょう!!

七丁目は「こども110番」の店25個所あります・・黄色い看板が目印ですよ!!!

★特に下校時の発生が多いです!!

今年1月-33件　2月-30件　3月-41件　合計104件

*声掛けの時間帯

子どもの帰宅時間にあたる
午後3時～7時台に集中しています。

*声掛けの対象者

小学校女児-39%　男児-27%で、近年男児が増えている。

マスクで不審者見えづらくなる!!

☆子供たちへ

子供たちは「車の色」「帽子の形」など具体的に伝えるようにしましょう。

七丁目の北公園に設置しています。「いかのおすし」をもう一度、復習しましょう。

いかのおすし

「いか」・・知らない人にはついて・いかない!!
「の」・・・知らない人の車に・・・のらない!!
「お」・・・あぶないと思ったら
おおきな声をだす!!
「す」・・・その場から　・・・・すぐにげる!!
「し」・・・おとなの人に・・・・しらせる!!

町内のみなさんご協力をお願いします。

「ながら見守り」とは
私たちが普段の生活の中で、何かをし「ながら」防犯の視点で「子供たちの安全を守る」防犯活動です。

《ながら見守り活動例》

- ○日常の仕事をしながら見守る
  - 例～用務先へ向かいながら見守る
  - 配達などをしながら見守る
- ○清掃活動をしながら見守る
- ○ジョギングをしながら見守る
- ○犬の散歩をしながら見守る
- ○庭で花の水やりをしながら見守る

裏面へ

町内の高齢者のみなさん・・詐欺団が・・要注意して下さい!!!
★詐欺が七丁目まで来ています★今一度要注意ですよ!!

思い出そう! 電話口お金の話それは詐欺！

たこのおすし

たしかめて
こどもの声と違うかも
のっちゃだめ
お金やカードは渡さない
すぐ出ない
しらない番号は留守電で

少しでもおかしいと思ったら、家族や警察に相談しましょう。

電話口お金の話 それは詐欺！

電子マネーの番号を聞き出す詐欺が急増！

犯人は、「有料サイトの料金が未納です」「裁判になります」などとメールがきて、その後コンビニ等で電子マネーカードを購入させ、カードに記載された番号を教えるように言ってきます。法務省や架空の組織を名乗るハガキにも注意！

「キャッシュカードを預かる」「暗証番号を教えて」は詐欺！

犯人は、警察官や百貨店店員、銀行員等を名乗り、「あなたのキャッシュカードが使われていますので、預かります」「暗証番号を教えて下さい」などと言って、キャッシュカードをだまし取り、口座からお金を引き出します。

電話の相手は本当に息子？

犯人は、実際の息子や孫、甥を名乗り、「カバンをなくした」「会社のお金を横領した」「不倫相手を妊娠させた」などと言った電話をかけてきて、示談金や和解金名目のお金を要求してきます。

ATMでお金は戻りません！

犯人は、社会保険事務所や税務署、役場職員等を名乗り、「医療費や税金、年金等の払い戻しがある」「ATMで手続きをしてください。」などと言って、無人のATMに誘導し、携帯電話で指示しながら、還付手続を装って操作させます。

新型コロナウイルスの感染拡大に乗じた詐欺・悪質商法の手口に注意！

電話で
「新型コロナに感染しお金が必要」
「給付金があります」

詐欺（サギ）に注意!!

「水道管にウイルスがついてる」
「コロナはマイナスイオンで死滅します」

新型コロナウイルスに関しての不審な電話やメールがあったらすぐ通報（110番）!!